

南条保育園で田植えを体験！



6月17日（月）、南条保育園で田植え体験が行われました。

兼業農家で、ご自身やお子さんも南条保育園卒園という小林拓也さんと和也さん兄弟のご協力により、『おこめせんせい』として、苗の提供や園児たちに、どのように米ができるのかを写真を使いながら教えていました。

園児たちは、「どうして、お米は白いの？」「何で土に植わっているの？」「どうしてお米はモチモチしているの？」など次々と『おこめせんせい』に質問していました。

田植えは、白い発泡スチロールなどの箱に土を入れ、水を張った『小さな田んぼ』で行われ、グループごと『おこめせんせい』や担任の先生などに手伝ってもらいながら苗を植えていました。黙々と真剣に苗を植える園児や、先生に「もう1本！もう1本！」と掛け声をかけながら植える園児、先生と一緒に植える園児などさまざまで、田植えが終わった『小さな田んぼ』は苗で青々としていました。

今後、園児たちは約半年を通して、収穫、脱穀などを体験していく予定です。これからの生長が楽しみですね！

村上保育園で人権擁護委員による人形劇を開催

6月18日（火）、村上保育園で人権擁護委員の皆さんによる人権に関する人形劇「森のなかま」が行われました。

「森のなかま」は、森には色々な動物がいるけれど、勇気と優しさを持ってみんなで仲良く暮らしていこうという内容で、園児たちは楽しそうに観劇していました。



人形劇を通して人権について考えてもらう、この活動は、長野地方法務局上田支局管内（坂城町・上田市・東御市・長和町・青木村）の人権擁護委員の皆さんが管内の保育園や幼稚園から小学校低学年までを対象に年2回行っていて、20年近く続けているそうです。毎月1回は集まって練習しているという劇は、登場するオオカミや猿、ウサギなどの人形が個性豊かで、園児たちは目が離せない様子でした。

劇の終了後には、人権イメージキャラクターの「人KEN あゆみちゃん」が登場し、園児たちは一斉に「あゆみちゃん！」と嬉しそうに手を振って声を掛けたり、写真を撮ったりしていました。